

台風10号の接近に伴う農作物等の管理対策の徹底について

令和2年9月4日
福井県農業総合指導推進会議

○安全対策

- ・人命第一の観点から、大雨・強風の中での圃場の見回りはしない。
- ・大雨や強風がおさまった後でも、増水した河川や水路等の危険な場所には近づかない。
- ・熱中症対策として、高温下での長時間作業を避け、こまめに水分と塩分を補給する。人と少なくとも2m以上の距離が確保できる場合は、マスクを外す。

○強風対策

- ・ハウスは、フィルムの破損は修繕し、出入り口はしっかり固定する。
- ・ハウス周辺に飛ばされるものがないか点検し、片付けておく。
- ・果樹は支柱等で枝を固定し、枝揺れによる果実の傷や枝折れ・落果を防ぐ。
- ・ナシ等の棚栽培では、棚の「あおり止め」などの点検を行うとともに、枝梢を棚に誘引・結束しておく。

○大雨対策

- ・大豆やそばなどの冠水や浸水しやすい圃場は、圃場の排水溝の点検、手直しなど重点的に排水対策を実施する。

○その他

- ・台風の進路により、フェーン現象により高温となることが想定されるので、農畜産物の適切な高温管理等に努める。
- ・暴風雨、増水等により施設や倉庫等の管理や巡回が十分できないことから、日頃から出入口等の施錠を確認するなど、防犯対策に留意する。

1 野菜

〈通過前〉

- ・果菜類では、根傷みや草勢低下を防ぐため、摘果や若どり等を行い、株の負担を軽減しておく。
- ・ネギは倒伏しないよう、土寄せを行う。
- ・ハウスは、フィルムの破れ・はがれ部分や破損した出入口から、ハウス内に

風が吹き込み倒壊することが懸念される。フィルムの破損は修繕し、出入り口はしっかり固定する。

- ・また、飛来物による損傷を防ぐためハウス周辺に飛ばされるものがないか点検し、片付けておく。
- ・ハウスの側面、妻面等を補強する。ハウスバンドや留め具等のゆるみ、出入り口の戸車やレールのはずれがないか点検し、必要な修繕を行う。
- ・換気扇が設置されているハウスでは、換気扇を稼働し減圧に努め、フィルムのばたつきを防ぐ。
- ・停電に備え、手動換気等の手順を確認しておく。非常電源が確保できる場合は事前に動作確認を行っておく。
- ・冠水や浸水した場合に備え、排水用のポンプを準備しておく。

〈通過後〉

- ・冠水や浸水した圃場は、ポンプ等により停滞水を速やかに排水する。
- ・ハウスは、直ちにサイドビニールの巻き上げ、天窓の解放等により、換気を行いハウス内温度をできるだけ早く低下させる。また、各部を点検し必要な修繕を行う。
- ・病害の発生が懸念されるので、損傷した茎葉を除去し速やかに防除を行う。特にサトイモ等については、防除を徹底する。
- ・追肥、液肥の葉面散布等により生育の回復に努める。

2 果樹

〈通過前〉

- ・支柱等で枝を固定し、枝揺れによる果実の傷や枝折れ・落果を防ぐ。
- ・ナシ等の棚栽培では、風による棚面の動揺を防ぐため、棚の「あおり止め」などの点検を行うとともに、枝梢を棚に誘引・結束しておく。
- ・収穫期に達している果実は速やかに収穫を行う。ただし、未熟果の収穫は行わない。

〈通過後〉

- ・倒木した場合は速やかに立て直し、強度のある支柱等にくくりつける。枝が裂けた場合は裂開面を接合して、強く結束する。折れた場合は切り戻し、切り口に癒合剤を塗布する。
- ・果実にキズを生じた場合は、品質を見ながら摘果を行う。

- ・風雨による傷口からの病気の感染を防ぐために、農薬登録内容に従って殺菌剤を散布する。

3 花き

〈通過前〉

- ・ フラワーネットの支柱はしっかり打ち直し、中間にタルキグイを増やして補強する。
- ・ 畝の横風に対しては1、2本おきに隣の畝の支柱どうしをハウスバンドで連結して固定する。
- ・ ネットは花の先端から3分の1程度下がったところで支持する。

〈通過後〉

- ・ 強風により傾いた花は、茎や花の曲りを防止するため、早急に立て起こす。
- ・ 株腐れや根腐れを防止するため、通路の排水を行う。

4 畜産

〈通過前〉

- ・ 畜舎や堆肥舎等の施設や保管飼料への雨水の侵入を防ぐ。
- ・ 畜舎の 戸締りを行い、ドアやシャッター、屋根の風による被害を防ぐ。
- ・ 準備できるようなら停電対策の自家発電機、燃料などを準備する。
- ・ 放牧地においては、牧柵等の施設の破損、土砂崩れ等の危険がないか点検を実施し、危険と判断した場合は、速やかに 牛を牛舎に引き上げる。
- ・ 牧草地の浸冠水に備え、牧草地内や周囲に排水溝を設ける。

〈通過後〉

- ・ 畜舎等の施設に浸水した場合は、すぐに排水し疾病発生予防のため洗浄と消毒を実施し、畜舎等の乾燥に努める。
- ・ 侵食や土砂流入が発生した場合は、早急に現状復帰を図り、必要によっては牧草の播種等を行い生産力の回復を図る。